

寄付いただきました

(株)ウォーターエージェンシーから企業版ふるさと納税を活用した寄付金をいただきました。寄付金はハナトピア岩沼リニューアルに関する事業に活用されます。ありがとうございます。(1月14日)



▲(株)ウォーターエージェンシー
岡野谷真助取締役常務執行役員(右)

災害時における物資供給に関する協定を締結しました

ホームセンターなどを運営する(株)コメリが設立したNPO法人コメリ災害対策センター(榊雄一郎理事長)と市の間で「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。

この協定は、地震、風水害その他の災害が発生または発生する恐れがある場合に、災害時の復旧活動や避難生活が必要となる物資を、迅速かつ円滑に供給することを目的としたものです。協定締結により効果的な応急・復旧活動につながることを期待されます。(1月23日)

復興大臣感謝状の贈呈

千年希望の丘相野釜公園で活動する「いわぬま震災語り部の会」の青木孝豪さんへ宮城復興局の宮川賢治次長から復興大臣感謝状が贈られました。この表彰は震災の記憶と教訓の継承に向けた取り組みへの尽力と防災・減災意識向上への貢献に感謝の意を表したものです。

青木さんは「持続可能な活動を目指しに人材育成に努めていきたい」と話しました。(1月24日)



▲青木孝豪さん(左)、
宮城復興局宮川賢治次長(右)

市長を表敬訪問しました

クラブチーム「YUKI FOOTBALL ACADEMY」の選手などが、第42回ミヤギテレビ杯宮城県サッカー選手大会で優勝し、2024年度第1回東北チャンピオンシップU-10へ出場する報告として市長を表敬訪問しました。

選手一人ひとりが今大会の感想や、今後の抱負などが発表されました。東北大会は3月15日～16日に開催されます。(1月24日)



▲東北大会へ出場するYUKI FOOTBALL ACADEMYの選手
の皆さんとスタッフ

東日本大震災追悼行事の開催と献花台の設置

東日本大震災で犠牲となられた方に哀悼の意を表するとともに、震災の経験と教訓を風化させることなく後世に伝えるため追悼行事を行います。

追悼行事「希望の灯火」

日時／3月10日(月) 17時30分～19時

場所／千年希望の丘相野釜公園

内容／セレモニー、献花、灯ろう設置

※追悼行事「希望の灯火」は今回で最後の実施となります。

※ご自身が作成した灯ろうがある場合は、11日(火)の10時から16時までの間にお持ち帰りのみです。

ただけです。



サイレンを鳴らします

日時／3月11日(火) 14時46分(1分間)

場所／市内全域

献花台の設置

日時／3月11日(火) 10時～16時

場所／千年希望の丘相野釜公園

献花方式／自由献花方式

※ご供花(白菊は市で準備します)、ご供物、ご香料などをご遠慮ください。

※天候により、中止または内容を変更する場合があります。

ご了承ください。

問／総務課(☎23-0185)



3月は自殺対策強化月間です

問／社会福祉課（☎23-0509）

月別自殺者数の最も多い3月は「自殺対策強化月間」とされています。自殺は、身体疾患や子育ての悩み、失業、人間関係などの要因によって追い込まれた末に起きる、とても身近な問題です。

自殺者を減らしていくために、皆さん一人ひとりの「生きる支援」に対する意識が大切です。

【相談窓口はこちら】

- 社会福祉課（☎23-0509）
心の健康相談（精神科医・心理士）、
個別相談（保健師）
- #いのちSOS（☎0120-061-338）

- いのちの電話（☎0120-783-556）
- よりそいホットライン
（☎0120-279-226、年中無休24
時間対応。チャットやSNSによる
相談にも対応）



▲よりそいホットライン

ゲートキーパーをご存じですか？

「ゲートキーパー」とは、身近な人の自殺の危険性に気付き、声を掛け、話を聞き、必要な支援につなげ、見守る人のことです。あなたの周りに気がかりな人はいますか？まずは優しく声を掛けてみてください。

あなたの勇気と行動がかけがえのない「いのち」を守ります。

岩沼市自殺対策計画期間の延長

自殺対策を総合的かつ効果的に推進していくため策定した「岩沼市自殺対策計画（計画期間：令和2年度～6年度）」は、令和7年度に最終年度を迎える地域福祉計画に包含し、一体的に推進していくため、計画期間を1年延長します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。これまでの取り組みや評価をまとめた資料については3月末に掲載する予定です。



▲厚労省ホームページ
「ゲートキーパーに
なろう！」



▲市ホームページ



こころの健康を保つために



問／健康増進課（☎23-0794）

ストレスは誰もが感じるものですが、ためすぎるとこころや体の調子を崩してしまうことがあります。気持ちがパンクしないように、上手にセルフケアをしていきましょう。

生活習慣を整えましょう

バランスの取れた食事や質の良い睡眠、適度な運動の習慣を維持することが、こころの健康づくりの基礎になります。

また、日常生活の中でリラックスできる時間を持つことも大切です。ゆったりお風呂に入る、軽くストレッチをする、音楽を聴くなど、気軽にできることをやってみましょう。

考え方やものの見方を変えてみましょう

ストレスを感じているとき、私たちは物事を固定的に考えたり、問題点や良くないことに注目したりする傾向があります。そんなときは、良くないことばかりではなく、実際にできていること、うまくいっていることに注意を向けてみることも大切です。

困ったときは誰かに話してみましょう

話を聞いてもらうだけでも、気持ちが楽になることがあります。話すことで自分の中で解決策が見つかることもあります。

友人、家族、同僚、地域や趣味の仲間など、日頃から気軽に話せる人を増やしておきましょう。

それでも不安を抱えているときは…



一人で抱え込まず、専門家に相談しましょう。
健康増進課でも個別の相談に応じています。